

講習会・勉強会活動報告

テーマ：「装具製作時における保険制度について」

講師：(株)大坪義肢製作所

亀井 淑勉 先生

日時：平成23年5月11日 18:00～19:00

内容：1. 医療保険制度と社会福祉制度の装具作成について
2. 質疑応答

参加人数：約80名 (Dr PT OT MSW Ns)



講義では、制度上の補装具の分類、医療・福祉それぞれの制度と支給の流れ、補装具費の支給条件を説明されました。

亀井先生のこれまでの経験をもとに装具・義肢作成の例を話されました。

医療保険制度と社会福祉制度の比較や高額療養費と装具費の合算条件、装具や義肢のタイプによる耐用年数の違いをご説明されました。

質疑応答は20分以上にわたり活発な質問が飛び交い、盛会裏に終わりました。



脳卒中ガイドライン（2009）では脳卒中患者に対し長下肢装具を積極的に使用することが推奨（グレードA）されています。今日では装具療法の考え方（治療用・更生用）が変化してきており、これからは装具の必要性がますます高まっていくように感じられます。装具や義肢は高価である為、我々スタッフは医療・福祉制度を理解した上で患者様・ご家族の経済的な負担をなるべく減らせる制度の情報提供を行い装具・義肢作成の同意を得ることが重要です。

最後に、亀井先生には60分にわたりご講演いただきましてありがとうございました。

（文責 副センター長 西野 琢也）